

「ビブリオバトル 2018 in 瀬戸市立図書館」

2018年11月18日（日）、瀬戸市立図書館で「ビブリオバトル2018 in 瀬戸市立図書館」が開催され、本校から4名の生徒が参加しました。

「ビブリオバトル」（書評合戦）とは、発表者（パトラー）が自分のお気に入りの1冊をそれぞれ「プレゼン」し、参観者がその中から一番読みたくなった「チャンプ本」を投票で選ぶという書評ゲームです。

このイベントは、「大学コンソーシアムせと」という団体が主催し、加盟5大学（名古屋学院大学・愛知工業大学・金城学院大学・名古屋産業大学・南山大学）の学生たちが運営委員となって、瀬戸市立図書館とともに運営しているものですが、4年目を迎えた今回は、瀬戸市内の高校4校にも参加が呼びかけられ、瀬戸高校からは1年生の伊藤愛純さん、竹内詩織さん、2年生の加藤彩花さん、一色優歩さんの合計4名もの参加がありました。

加盟5大学からの各1名と瀬戸西高校から1名、瀬戸窯業高校から1名、そして本校からは4名の計11名の「パトラー」が、自分のお気に入りの1冊を持ち寄り、5分の制限時間でその本に対する熱い^{おも}想いを語りました。

当日はどんよりと曇った肌寒い一日でしたが、それでも瀬戸市立図書館には50名を超える参観者が集まり、プレゼン後の質疑応答も大変活発に行われ、盛況のうちに終了しました。

本校の加藤さん、一色さん、伊藤さん、竹内さんの4名は、多くの大学生の中に混じっても全く臆することなく発表に臨みました。その姿勢は大変堂々とした立派なものでした。

投票の結果、「チャンプ本」は金城学院大学の学生が紹介したホラー小説『かにみそ』（倉狩 聡）に決定し、本校発表者のなかでは、一色さんの紹介した『人間椅子』（江戸川乱歩）が僅差で惜しくも第3位という結果になりましたが、高校生としては大健闘だったと思います。参観者からも賞賛の声がたくさん寄せられました。

本校生徒が人前でこんなに堂々と発表が出来ること、さらに4名もの生徒が本に対して熱い想いを抱いていてくれたことは大変うれしい限りです。4人のさらなる活躍に期待しています。



今回紹介された「おススメ本」は以下のとおりです（発表順）。

- ①『怨霊になった天皇』 竹田恒泰著（小学館文庫）
- ②『僕は何度でも、きみに初めての恋をする。』 沖田円著（スターツ文庫） ←加藤彩花さんがプレゼン
- ③『かにみそ』 倉狩聡著（角川文庫） ←今回の「チャンプ本」
- ④『未踏召喚://ブラッドサイン』 鎌池和馬著（電撃文庫）
- ⑤『人間椅子』 江戸川乱歩著（角川文庫） ←一色優歩さんがプレゼン（第3位!）
- ⑥『カエルの楽園』 百田尚樹著（新潮社）
- ⑦『なるべく働きたくない人のお金の話』 大原扁理著（百万年書房）
- ⑧『コンビニ人間』 村田沙耶香著（文春文庫）
- ⑩『マスカレード・ホテル』 東野圭吾著（集英社文庫） ←伊藤愛純さんがプレゼン
- ⑪『九つの、物語』 橋本紡著（集英社文庫） ←竹内詩織さんがプレゼン

今回の発表者（パトラー）のみなさん

